

地球温暖化防止への取り組み

二酸化炭素(CO₂)排出量の抑制に向け、全社規模でエネルギーの適正使用や自然エネルギーの有効活用に取り組んでいます。

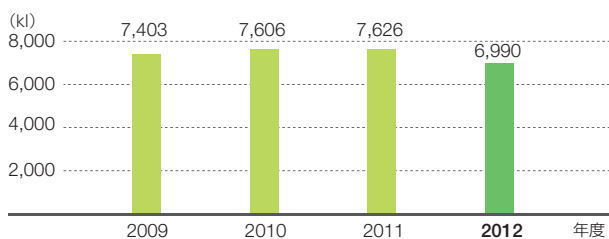


エネルギー使用量の推移

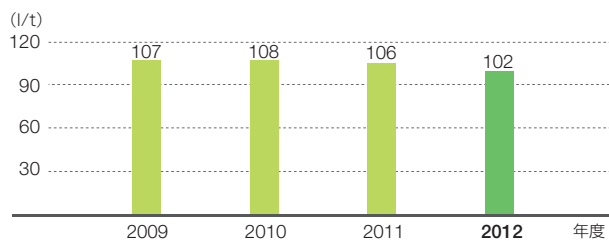
当社は、硬化乾燥時のエネルギー消費量を削減できる低温硬化形焼付塗料や夏季の室温上昇を抑制できる遮熱塗料などの商品を開発・提供しており、これらをご使用いただいた事業所でのエネルギー使用量およびCO₂排出量の削減に寄与しています。当社の各事業所でも工場・倉庫の屋根に遮熱塗料を塗装し、効果を上げています。

2012年度も電力会社からの削減要求を受け、那須事業所ではコージェネレーションやデマンドコントロールの活用を中心としたピーク時の電力削減を行いました。他の事業所においてもエアコンの設定温度アップ、間引き照明、自販機の停止などを実施、全社規模で原単位におけるエネルギー使用量を削減しました。

● エネルギー使用量の推移(原油換算量)



● エネルギー原単位の推移(生産量)



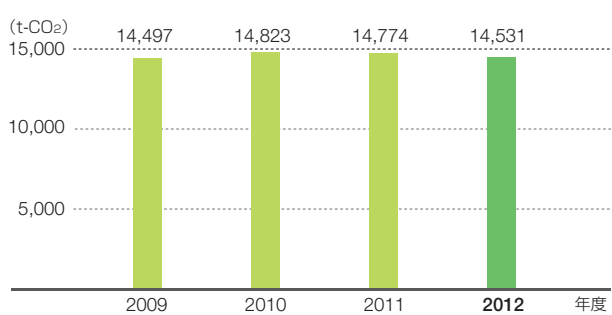
CO₂排出量の推移

CO₂などの温室効果ガスの増加による温暖化によって、海面水位の上昇による土地の流失や砂漠化の進行、森林の喪失、生態系の破壊など、さまざまな影響が生じると考えられています。温暖化を防止するためには、私たちの生活や企業活動によって生じる温室効果ガスを削減することが大きな課題となっています。

2012年度のCO₂排出量は14,531tで前年度から243tの削減となりました。今後も環境マネジメントシステムの活動テーマとして、エネルギーの適正使用とともにCO₂排出量の削減に取り組めます。

また、建物の空調エネルギーの削減に伴う節電や都市部ヒートアイランド現象対策に大きな効果がある商品「エコクールシリーズ」に「カーボンオフセット」を付与し、その「CO₂排出権」は、風力発電などの自然エネルギー開発や植林事業による森林保護などに生かされています。

● CO₂排出量の推移



TOPICS

小牧事業所内の屋根に遮熱塗料を塗装

2012年、夏の省電力対策と促進試験機器の保護を目的に小牧事業所内の技術棟および環境試験棟(促進試験棟)の屋根に遮熱塗料「エコクールマイルドSi」を塗装しました。

当該年度は春から夏にかけて例年より気温が上昇し、いわゆる「猛暑」となりましたが、以前よりも空調システムの稼働を抑えたにもかかわらず現場環境は改善されました。このことによって夏季における節電や省エネ対策として遮熱塗料「エコクールマイルドSi」が有効であったことが再確認されました。



エコクールマイルドSi塗装